

病虫害発生予察情報

3 月 月 報

平成13年4月11日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

3月	気 温						降 水 量		日照時間	
	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	(mm)		(h)	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比(%)	本年	年比
上旬	11.4	0.3	1.2	-0.6	6.2	-0.3	50	216	59.7	125
中旬	14.1	1.8	3.2	0	8.3	0.6	1	3	73.7	138
下旬	15.4	1.9	6.2	1.7	10.8	1.8	46	77	49.7	103
平均	13.7	1.3	3.6	0.4	8.5	0.7				
合計							97	82	183.1	115

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

- ◎ 気 温：前半は平年並であったが、後半になって平年より高くなった。
- ◎ 降 水 量：上旬はかなり多く、中旬は少なく、下旬は平年並であった。
- ◎ 日照時間：上・下旬は平年並であったが、中旬はやや多くなった。

<天候概況>

- 上旬：前線を伴った低気圧が周期的に通過し、雨や曇りの日が多かった。旬後半には真冬なみの寒気の影響で気温が下がった。
- 中旬：上旬に引き続き真冬なみの寒気の影響を受けたが、15日に日本海を通過した低気圧に伴う南風のため、日最高気温が21℃を超えた。
- 下旬：天気は周期的に変化した。25～26日と29日にはまとまった雨が降った。31日は真冬なみの寒気の影響で都心ではみぞれ、多摩地域では雪となった。

2 作物生育概況

(1) 野 菜 類

果 菜 類：トマト等の苗の生育はほぼ順調であったが、一部で霜の被害がみられた。また、トンネル栽培のスイートコーン、エダマメでは霜害が広い地域でみられ、被害が大きかったところでは播きなおしを要した。

葉 菜 類：施設のコマツナ、ハウレンソウの生育はほぼ順調であり、露地作においても霜の害はみられず、おおむね順調であった。

(2) 果 樹

ウ メ：開花時期は、平年よりやや早かった。

ナ シ：萌芽(発芽)期は平年より10日程度早かった。

3 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

特記事項なし

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < 少 > 発生は少なかった。

(3) 野菜の病害虫

キュウリ（施設）

ワタアブラムシ < 少 > 発生は少なかった。

ハダニ類 < 少 > 発生は少なかった。

トマト（施設）

灰色かび病 < やや少 > 発生はやや少なかった。

葉かび病 < やや少～並 > 発生はやや少～並であった。

オンシツコナジラミ < やや少 > 発生はやや少なかった。

マメハモグリバエ < 少 > 発生は少なかった。

トマトサビダニ < 少 > 発生は少なかった。

トマト・ナス・キュウリ（育苗）

ケナガコナダニ < 少 > 育苗床で発生は少なかった。

ミカンキイロアザミウマ < 少 > 育苗床で発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

イチゴ（施設）

うどんこ病 < 一部やや多 > 一部施設でやや多く発生した。

灰色かび病 < 少 > 発生は少なかった。

コマツナ（施設）

モモアカアブラムシ < 少 > 発生は少なかった。

ムラサキマルトビムシ < 並 > 発生は平年並であった。

コナガ < 少 > 発生は少なかった。

ナモグリバエ < やや少 > 発生はやや少なかった。

ホウレンソウ（施設・トンネル）

べと病 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ケナガコナダニ < 並 > 発生は平年並であった。

ネギ

ネギアブラムシ < 並 > 発生は平年並であった。

(4) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病 < 少～やや少 > 発生はやや少なかった。

オンシツコナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

ミカンキイロアザミウマ < 少 > 発生は少なかった。

ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
マメハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 島しょの病害虫

トビモンオオエダシャク（成虫） 大島における成虫の発生は、例年に比べやや早く、やや多かった。

テレフォンサービス

0 4 2 （ 5 2 5 ） 8 4 0 7

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.taes.metro.tokyo.jp/boujo>

病害虫の発生予察情報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。